

(前ページから続く)

### 須磨一ノ谷プラザの管理運営

本年度は管理運営2年目。運営体制を再整備し、稼働率アップと収支状況の改善に努めて参りました。関係者の尽力で少しづつ課題を克服し稼働率は目標の25%を超える水準となりました。運営はほぼ順調に推移しており、年度末には採算経営をほぼ維持できる見通しです。新年度も事業を継続する方針ですが、利用者拡大に向け会員の皆様の更なるご協力をお願いします。

### 学習支援事業

本年度の学習支援要請校は現在64校(前年度51校)支援校38校(同30校)延べ支援者数270人(同267人)と支援実績は着実に伸びています。急増する特別支援への対応が課題ですが、新年度も引き続き支援体制を増強し市内各校の期待に応えて参ります。

### パソコン講習会

平成20年度は残念ながら在校生向、一般市民向講座共受講生が減少し、折角の講座も低調です。来年度は運営体制の見直しを図り、パソコン講座の人気回復に努めます。

### (財)長寿社会開発センター助成事業

平成20年度も「伝承文化、環境保全、健康増進」をテーマに年間17のイベントを開催し、親子連れや熟年者層を対象に楽しみながら学んでもらっています。来年度も企画面で創意工夫を加え事業を継続していく所存です。

### フルーツフラワーパークとの共同事業

本年度も七夕祭り、里山探検、昔あそびなど年間5~6件のイベントをフルーツフラワーパークと協同実施中です。市民の皆様と心を通わすイベントとして好評を博しています。その他観光シーズンの土、日、祝日には園内ガイドを継続実施中です。

### 本部企画委員会の取組み

本年度本部新設の企画委員会では上半期に「運営委員会規約の改正問題」「役員選考内規の一部改正問題」を検討し、下半期には懸案の「区会活性化対策」について集中審議中です。来年度は改善方針が纏まった項目から逐次具体化していく方針です。

### 第6回定期総会について

本年度の定期総会は5月26日(火)を予定しております。会員の皆様には万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶の終わりにあたり、会員の皆様はじめご家族の方々が健やかで充実した一年をお過ごしになられるようお祈り致します。 以上

## 第2回『学習支援の集い』開催さる 子どもたちの学習支援委員会

日時 平成20年12月15日(月)  
午後1時~4時30分  
場所 KSC学習室1・2,3・4  
出席者 子どもたちの学習支援者(30人)  
学習支援委員会(11人)  
1,はじめの全体会 司会 井上 堅委員

### 加藤理事長のあいさつ

皆さん今日は、ちかごろは核家族化がすすみ、社会の変化にともない、子どものいじめ、虐待、学力の低下が指摘されるなど、子どもがのびのびと育つのが難しい環境にあります。

このような時、地域、社会の大人が積極的に係わっていくことが大切です。社会奉仕に取り組む「わ」にとって子どもたちの支援にとりくみ、多くの支援者が係わって欲しいと願っています。

今日は小学校、特別支援学校の支援活動にとりくんでいる皆さんが、分科会、全体会で積極的に発言し、お互いに経験を交流して、様々な話し合いの中から、元気を貰うことを願っています。

### 松本教務リーダーのあいさつ

皆さん今日は、わの皆さんが学習支援にとりくみ、熱心に取り組み、また努力している姿を知っています、事務局としても感謝しております。

在校生の地域交流活動では、現在62の地域交流活動グループがあります。そして、小学校校区(50校)で地域交流をすすめています。

わの学習支援、特別支援は小学校、特別支援学校38校で、在校生の地域交流とあわせて90校近くになり小学校、特別支援学校の先生方からも感謝されています。

いまは様々な事情が学校にあります、このなかで在校生の地域活動、わの学習支援が大きな力となっています。さまざまな困難があろうと存じますが、子どもの成長のためよろしく願います。

### 中沢委員長のあいさつ

ご苦労様です、活動の状況ですが、4年前は18校だったが、今年は38校に支援をしている。小学校からの支援要請は64校になるが、まだ全部は支援できていません。

最近、特別支援の要請が増えている、我々としては特別支援を十分に知らないの、教育委員会と話し合いをもって、内容をもっと知って取り組み続けたいと思います。

また、学習支援委員会内規を作って配布しています。  
(次ページに続く)